

授業科目等の概要

(医療専門課程 視能訓練科) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			教育学 Pedagogy	教育とは何かを考え、家庭・社会・学校との関わりの中での人の役割や発達を理解し、乳幼児の成長についての理解を深めます。	1前	30	2	○			○			○	
○			数学 I Mathematics I	生理光学を学ぶ上で必要な基礎的な数学を習得します。	1前	15	1	○			○			○	
○			数学 II Mathematics II	生理光学 I を踏まえ、論文解釈に必要な統計学を学び理解します。	1後	30	2	○			○			○	
○			英語 I English I	日常会話や英作文などの基礎的な内容を習得します。	1通	30	2	○			○			○	
○			英語 II English II	論文読解に必要な英語能力を身につけます。	2通	30	2	○			○			○	
○			情報科学 Information Science	コンピュータの基本的な操作方法を学び、ワード・エクセルなどのソフトウェアの使用方法を習得します。	1後	30	2	○			○			○	
○			生物学 I Biology I	細胞の構造、組織・器官の発生等、生物学を系統的に学び、人体の構造・機能の理解に結びつけます。	1前	30	2	○			○			○	
○			生物学 II Biology II	細胞の構造・神経・遺伝を中心に、視能訓練士に必要な生物の構造と機能を習得します。	1後	30	2	○			○			○	
○			物理学 Physics	幾何光学を中心に、視能訓練士に必要な物理学的知識を身につけます。(光の3原則、プリズム、回折など)。	1前	15	1	○			○			○	
○			文章表現 Writing	敬語や正しい日本語の使い方、はがき、挨拶状、お礼状の書き方、小論文の書き方を習得します。	2前	30	2	○			○			○	
○			解剖学 I Anatomy I	身体の各器官の位置・形状・構造の正常構成と正常機能を習得します。	1前	30	2	○			○			○	
○			解剖学 II Anatomy II	人体模型や解剖見学を通し、各器官の構成・機能を習得します。	1後	30	2	○			○			○	
○			生理学 Physiology	人体の機能について(筋・神経・呼吸・循環・消化・吸収など)について習得します。	2後	30	2	○			○			○	

○			心理学 Psychology	心理学の基礎（知能・学習・情緒・発達など）を学び、人間の心理や行動の原理を理解します。患者様の心理を理解し、より良い信頼関係を形成するための手法を習得します。	1 通	30	2	○			○								
○			スポーツと健康 Sports and Health(lab)	運動実践を通し、健康づくり、健康管理の重要性を習得します。	2 通	45	1		○			○							
○			全身疾病学 Systemic Disease	視能訓練士に必要な全身疾患を眼疾患と関連付けて学びます。（高血圧・糖尿病・代謝異常・血液疾患・内分泌疾患・感染症・染色体異常・先天異常など）	2 通	30	2	○				○							
○			眼疾病学Ⅰ Ophthalmic DiseaseⅠ	眼科的疾患について解剖学的部位別に系統だてて学び、疾患と各種検査の関連を学びます。また、症例問題を解くことで、臨地実習、国家試験対策へと結びつけます。	1 通	30	2	○				○							
○			眼疾病学Ⅱ Ophthalmic DiseaseⅡ		2 前	30	2	○				○							
○			眼疾病学Ⅲ Ophthalmic DiseaseⅢ		2 後	30	2	○				○							
○			視器の解剖生理・ 病理学Ⅰ Ocular Anatomy and PathologyⅠ	視器の構造・機能・外眼筋の作用について学び、視能検査学、基礎視能矯正学の理解へと関連付けます。	1 前	30	2	○				○							
○			視器の解剖生理・ 病理学Ⅱ Ocular Anatomy and PathologyⅡ	脳と神経（大脳機能局在・脳神経・視覚伝導路）について理解し、視覚情報処理の機序を学びます。（眼球運動を司る神経、眼の自律神経も含む。）	1 後	30	2	○				○							
○			医用光学機器 Medical Engineering	眼底カメラ、細隙灯顕微鏡、視野計などの原理とメンテナンス方法を学びます。眼底の9方向パノラマ撮影を行います。	2 後	30	2	○				○							
○			医用光学機器演習 Medical Engineering	電気生理系検査（網膜電位図・視覚誘発電位・EOGなど）、超音波検査の適応疾患と波形の解析について学びます。	2 通	45	1		○			○							
○			眼光学特別講義 Ophthalmological Optics Special Lecture	眼鏡光学、コンタクトレンズ光学およびそれぞれの基礎的な処方、ケアについて学びます。	2 通	30	2	○				○							
○			社会福祉 Social Welfare	社会福祉への関心と理解を深め、臨床における視能訓練士の役割を学びます。	3 通	30	2	○				○							
○			医療倫理学 Medical Ethics	倫理学の概念を学び、特に医療分野における諸問題について考え、人間理解に結びつけます。	3 通	30	2	○				○							
○			精神衛生 Mental Health	国民衛生の動向を中心に、現代社会における健康の諸問題について考えます。また、代表的精神疾患について学び、精神的健康の保持・増進のため、精神健康障害の予防、回復、治療およびリハビリテーションについて理解を深めます。	1 通	30	2	○				○							
○			総合演習Ⅰ General TrainingⅠ	臨地実習に向けた総合的な実技指導、演習を行います。理論に基づく検査技術の向上や、疾患との関連付けを考えられることを目標とします。	1 通	30	1		○			○							
○			総合演習Ⅱ General TrainingⅡ		2 通	45	1		○			○							

○		生理光学演習Ⅱ Physiological Optics Training Ⅱ	クロスシリンダーによる屈折検査、調節検査、近見矯正などの実習を行います。	2通	45	1	○	○	○									
○		視覚生理学Ⅰ Visual Angle Ⅰ	形態覚および色覚の理解とその検査法について学びます。	1前	30	2	○		○	○								
○		視覚生理学Ⅱ Visual Angle Ⅱ	光覚および視野の理解とその検査法について学びます。	1後	30	2	○		○	○								
○		視覚生理学演習Ⅰ Visual Physiology Training Ⅰ	視力検査、色覚検査、視野測定についての原理と器械操作、測定方法について演習を行います。	1通	45	1	○		○	○								
○		視覚生理学演習Ⅱ Visual Physiology Training Ⅱ	眼疾患に関連した視野異常の測定や視覚生理に関わる演習を行います。	2通	45	1	○		○	○								
○		神経眼科学 Neuro Ophthalmology	対光反射・瞳孔異常・核上性眼球運動障害・核下性眼球運動障害・視神経疾患を脳・神経解剖と関連付けて理解し、眼振を含め神経眼科疾患に必要な検査及び検査方法を学びます。	2通	30	2	○		○									○
○		小児眼科学 Pediatrics	乳幼児・小児の発達を理解し視能訓練士の臨床活動に必要な知識を学びます。	2通	15	1	○		○									○
○		基礎視覚障害学 Basic Visual Disorders	視覚障害者の疑似体験・各種用具を実際に使用し、視覚障害者への理解を深め、眼科リハビリテーションにおける視能訓練士の役割について学びます。	1後	15	1	○		○									○
○		視覚障害学 Visual Disorders	視覚障害の定義、視覚障害者の推移、等級、法律、補助具について理解します。	2通	30	2	○		○									○
○		症例検討 Case Studies	臨地実習で経験した症例についてまとめ、発表を行います。	3通	15	1	○		○	○								
○		関係法規・医学概論 Medical Related Law/ Historical Outline of Medical Science	医学の進歩の歴史と全般的な知識、視能訓練士に必要とされる社会保険制度について学びます。	1後	15	1	○		○									○
○		眼科薬理学 Ocular Pharmacology	薬理作用の機序を理解し、眼科学疾患における薬物療法について学びます。	2前	30	2	○		○									○
○		視能訓練学（弱視） Orthoptic Science Amblyopia	小児の視覚発達の特徴を理解し、弱視治療の歴史、原理、方法、訓練の実際、効果判定について学びます。	2前	30	2	○		○	○								
○		視能訓練学（斜視各型） Orthoptic Science (Strabismus)	先天性斜視および後天性斜視の各型を理解し、両者の違い、診断方法について学びます。	1後	30	2	○		○									○
○		斜視検査Ⅰ Strabismus Testing Ⅰ	眼位（定性・定量）について理論および手技を学びます。	1通	30	2	○		○	○								
○		斜視検査Ⅱ Strabismus Testing Ⅱ	斜視の検査及び治療（固視検査、眼位検査、立体視検査、大型弱視鏡検査、網膜対応検査、眼球運動検査等）について学びます。	2通	30	2	○		○	○								

○		視能検査演習 I Ophthalmic Test Training I	斜視検査 I に基づき、各種検査について実践を通して学びます。	1通	45	1		○	○	○				
○		視能検査演習 II Ophthalmic Test Training II	斜視検査 II に基づき、各種検査について実践を通して学びます。	2通	45	1		○	○	○				
○		臨地実習 I Clinical Practice I	臨地実習の目的・意義、および医療接遇について十分理解した上で、実際の視能訓練士の業務を経験します。また、講義や学内実習・演習で学んだ知識や技術を統合させ、専門分野の学習へとつなげます。	3前	315	7			○	○				○
○		臨地実習 II Clinical Practice II		3前	315	7			○	○				○
合計				63科目	2445単位時間(112単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目（不合格）が1科目以上あれば、原則進級・卒業できない。		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。